



2023年1月1日現在

世帯数	: 5,462戸
男	: 5,773人
女	: 6,098人
計	: 11,871人

『山辺谷が御柱色に染まる』

癸卯年は努力が花開き、実り始める年

里山辺地区の皆様、新年あけましておめでとうございませう。希望に燃え、誓いも新たに新しい年のスタートを切られたかと思えます。

この三年というものは、コロナウイルスに振り回された年でもありました。来年こそはと誰もが思いました。しかし、その思いとは裏腹に、一向に終息の見えない壁に弾き飛ばされ、無力感を感じてきました。が、地区行事の開催に向けて準備を進める等、これまでとは違った一年であったように思えます。三年間何も出来なかった事で、これまで当たり前前に出来ていたことが如何に尊いことかということ、多くの皆様を感じ取った三年間であったかと思えます。

の努力が花開き、実り始めること』と言った縁起の良い年であるそうです。折しも今年は山辺谷の七年に一度の大祭である御柱祭が、大和合、宮原、橋倉、千鹿頭、須々岐水神社で次々に開催され、山辺谷が御柱色に染まります。これまでの様に山辺地区に活気が戻ること祈りつつ、今年一年を元気に送りたいと思えます。

里山辺公民館長 小幡 泰俊

今年が癸卯年、癸には種子が計る程の大きさになり、春の間近でつぼみが花開く直前の意。卯には門が開いて飛び出る意があると言われ、『これまで



平成 29 年時の御柱祭

### 成人おめでとうございます

令和5年1月8日(日)に松本市総合体育館でハタチの記念式典が行われ、里山辺地区では112名の方が成人を迎えました。

### わが町紹介

●南小松町会●

**南保会**

南小松町会の新年事始めは年末に作ったコンニャクを皆で試食する事から始まる。お正月のおせちの定番手綱コンニャクに加え刺身コンニャクも頂く。昨年同様柔らかな。至福の一時である。食するコンニャクは二年経て植え付けしたコンニャクイモをミキサーで碎き加熱冷却して

作られる。毎年ベテランによるレシピに基づくが出来栄えに微妙な違いが表れる。

町会の構成は比較的農家が多いが、環境維持向上のために非農家も行事への参加に努めて農業施設の保全に一体となり取り組んでいる。年間七回以上の水路の点検、清掃整備、花壇植栽、花の育成や植え付け等数多くの作業がある。コンニャクイモづくりに関しても、農地の景観向上等を図る「農林水産省の農地・水環境保全向上

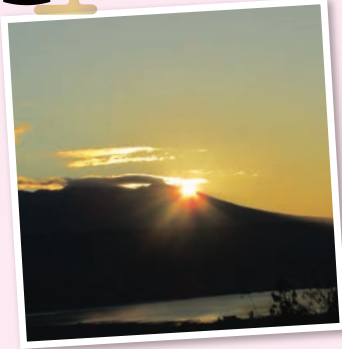
対策事業」の一環で、平成十九年から今日まで市の補助を受けてきた。これからも南保会の活動は環境を守り未来へつなげて行く事を目標として実施します。

南小松町内公民館長 忠地 佳貴



参加者のみなさん

### 新年のフォトギャラリー



▲初日の出～塩尻峠から～  
撮影者：小幡 泰俊



▲千鹿頭神社夜の参道  
撮影者：浅海 智広



▲朝焼けに染まる乗鞍～北小松の薄川から～  
撮影者：浅海 智広

「満蒙開拓平和記念館」  
視察研修  
〜 尊い平和の世の中を思う 〜

年の瀬も迫った22日、里山辺地区人権啓発推進協議会の視察研修が行われました。3年振りの視察となった今回、阿智村の「満蒙開拓平和記念館」と、小説「破戒」の著者でもある島崎藤村にゆかりのある妻籠宿です。数日前に降った雪が道に残る中で、研修でした。

本人が入植した当時の国策です。新天地に夢と希望を持って入植した人々でした。しかし、現実には厳しい状況の中で懸命に開拓を進めましたが、戦況が変わり日本の敗戦が決定的になると、取る物も取り敢えず、日本への帰国を目指しての逃避行となりました。その時の筆舌に尽くしがたい生々しい状況が、手記として館内に展示されています。参加者の皆さん誰もが足を止め、手記のページをめくっています。他にも全国に紛失している貴重な資料や写真を、懸命の努力で収集し展示されています。厳しい状況の中

でも笑顔で写っている姿に、心が痛みました。折しもロシアのウクライナ侵攻と重なり、平和が如何に尊いことかを強く思う機会となりました。



中でも笑顔で写っている姿に、心が痛みました。折しもロシアのウクライナ侵攻と重なり、平和が如何に尊いことかを強く思う機会となりました。



親子そば打ち教室

11月26日(土)に行い講師の先生から手際が良いと褒められていました。



里山辺地区餅つき大会

12月17日(土)に公民館前行われ、寒い中でしたが参加された子供を中心にお餅をつきました。



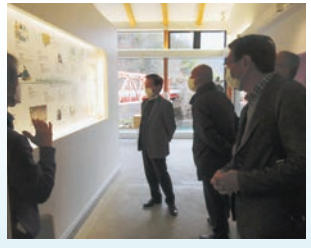
親子しめ縄教室

12月24日(土)に山辺児童センターで行われ、お正月のしめ縄飾りを作りました。

福祉ひろば視察研修より

11月28日(月)に、福祉ひろば役員視察研修が実施され、令和4年8月に新設されたばかりの、木曾町立「さとテラス三岳」を見学してきました。現在、里山辺地区では地域づくりセンター強化モデル事業として「災害時における避難体制の確立」に取り組んでいます。御嶽山噴火当時の避難状況について研修をするよい機会となりました。

木曾福島の中心から御嶽山に向かつて車で5、6分の所にある木曾ヒノキ等木材を使用した明るい施設でした。2014年9月の御嶽山噴火災害当時の映像や実際の火山弾や被害者の方のメガネや時計なども展示されていて、まさに噴火当



福祉ひろば事業推進協議会 篠田 洋一

時の現場にいるような生々しい状況が伝わってきました。今回の研修では、第1に災害発生直後にまずは何が起きているのかを的確に把握する、第2に指示を待つのではなく各自でわが身を守る行動に移る、第3に各施設は常に災害発生を想定した避難体制を整備しておくことの大切さの3点を、御嶽山噴火災害の施設見学を通して学ばせていただきました。

民生・児童委員決定!

- | ◎会長   | ○副会長 | ☆新任        |
|-------|------|------------|
| 下 金 井 | ☆    | ○山田克美・小林明子 |
| 新 井   |      | 小林利江・新井ひろこ |
| 湯 の 原 | ☆    | 片桐美智子・矢嶋正枝 |
| 藤 井   | ☆    | 今村陽子       |
| 上 金 井 |      | 金井節子       |
| 薄 町   | ☆    | 古畑みゑ子      |
| 荒 町   | ◎    | 上條健二・☆白澤知代 |
| 兎 川 寺 | ☆    | 西村久美子      |
| 西 荒 町 | ☆    | 下田裕子       |
| 北 小 松 | ☆    | 宮坂智子・伊藤敬子  |
| 南北小松  | ☆    | 赤岩 功       |
| 西 小 松 | ☆    | 有賀操子       |
| 林     |      | 渡邊千鶴       |
| 美 里 町 | ○    | 柳澤真弓       |
| 若 里 町 |      | 川端美早子      |
| 小 松 町 | ☆    | 百瀬ひろみ      |
- (任期:令和4年12月1日~令和7年11月30日)